

その他の一般質問

後藤 勲議員

駅前通りにトイレの設置ができないか

現在駅前通りに公衆トイレがないため、高齢者の人が安心して買い物ができない状況である。商工会とタイアップして空店舗を利用しながら、トイレを設置する方法もあると考えるがいかがか。

答

駅前どおりでトイレも含め、魅力ある商店街をどう作り上げていくのかは一つの戦略であり、環境衛生面、交流という社会福祉面など、多様な角度から、関係団体から具体的な提案があれば支援が可能か検討していきたい。



後藤 勲議員

ふれあい交流センターの入浴のあり方

建設から十三年が経ち、風呂の老朽化も

進み、利用者が年々少なくなってきた。

高齢者がもっと利用しやすいようにできないか。また、町内には温泉設置が充実しているので、温泉を低料金で利用できるなど高齢者が豊かに暮らせるサービスの提供も検討してはどうか。

答

ふれあい交流センター開設当時は七十歳以上の高齢者の利用に関しては無料で入浴させることは、民間事業者への圧迫につながるから週一回の利用に制限してきた経緯があるが、当面健康増進の目的に沿った利用拡大として機能回復や閉じこもり等介護予防として要介護、要支援の認定者の利用拡大について老人クラブや関係者と協議していきたい。

平川 昌昭議員

分野別施策の今年度の具体化を問う

①地元産牛乳の学校給食への進め方を聞く。

②鳥獣被害防止計画の策定をし、三年間の対策を示すべきではないか。

③国際森林年にあたり具体的な取り組みを考えているか。また分収林の取り組みについての考え方を聞く。

答

町内から生産された牛乳を中標津農協プラントに輸送製造し、小中学校に供給する事で農協を含めた三者で協議した。今年度は延べ約十六万二千個の牛乳が供給される。②二十三年度からの策定は道との協議を終え、三月下旬の公表を予定している。④今年度は記念植樹・講習会と森林ウォーキングの開催を検討していく。

分収林は、現在締結中の契約は二十三名、約二三〇ヘクタールだが、木材価格の低迷により、従来型の部分林の推進は難しいと考える。

深見 迪議員

病児、緊急時の子ども預かり事業の早期実施を

昨年六月第二回定例会で、子育て支援のニーズにこたえて、急な発熱や病児、病後の預かりや親の勤務形態による幼児、児童の送迎、短時間預かりの要望にこたえ「ファミ

リーサポートセンター」の設置を計画し取り組むという方針を町は示したが、その後の経過と今後の見通しを伺う。

答

また、これを早期実現して、働く親の要望にこたえるべきと考えるがどうか。ファミリーサポートセンターについては、社会福祉協議会の策定した第四期地域福祉実践計画において地域協働のための担い手づくりで、子育て支援に係るボランティア活動等の検討やボランティアコーデイネーターを設置していることから、改めて社会福祉協議会と協議をしているところである。

今後、社会福祉協議会との協議を行い、協議結果によつては、先日新たに町内で設立された「福祉サービスタ提供事業者」等々も視野に入れながら、検討していきたい。

深見 迪議員

さくら保育園、町立幼稚園の合築と幼保一元化について聞く

政府は二〇一三年度から「子ども子育て

新システム」を導入する考えを示した。新システムでは保育に対する市町村の公的責任を後退させる内容になっている。標茶町としては、保育の公的責任を今後

も果たし、保育料についても、現行の所得に応じた応能負担の原則を守るべきと考えられているか。

答

さくら保育園、町立幼稚園の合築の計画があるが、新システムとの係わりはあるのか。給食やあずかり時間はどうなるのか。標茶町としては、今後とも、保育に欠ける乳幼児の保育については、町立保育園として運営していく。

保育料については応能負担の原則を続けるべきとの質問だが、国の動向を注視しているところだ。さくら保育園、町立幼稚園の合築と子ども・子育て新システムとの係わりだが、法改正がない限り、今までどおりの運営を考えている。幼稚園については給食の提供を考えているが、詳細については、保護者等への説明会を開催し意見を集約していきたい。